2018年7月6日

一般社団法人 住宅性能評価·表示協会

BELS 評価業務方法書(以下、業務方法書という。)の7月9日改正に伴い、BELS 評価書作成プロ グラムの改修を行います。

<u>業務方法書(7月9日付け)に基づく運用は、7月9日(月)以降のBELS申請書の受付より適用</u> されることとなります。

当面の間、BELS評価書作成プログラムにおいては、新規作成及び、評価書データインポート(XML) を行なう際、以下の選択肢が表示され、旧業務方法書に基づく評価書の作成が可能となっております。

選択肢(文言が多少変更される可能があります)
①2018年7月9日以降の受付
:下記改修後の入力画面と評価書(業務方法書(7月9日付け)の内容)
②2018年7月8日以前の受付
:改修前の入力画面と評価書(業務方法書(5月15日付け)の内容)

改修内容

- 1. BELS 評価書作成プログラムの入力画面の追加・変更
 - (1) 基本情報·入力画面
 - (2) ファイルアップロード画面
 - (3) 住宅·入力画面
 - (4) 非住宅・入力画面
 - (5) 共同住宅等(共用部分)·入力画面
 - (6) その他情報・入力画面
- 2. BELS 評価書作成プログラムにおける注意事項

略

作成 PG : BELS 評価書作成プログラム

WEB-PG:国立研究開発法人建築研究所「エネルギー消費性能計算プログラム」

- 1. BELS 評価書作成プログラムの入力画面の追加・変更
 - (1) 基本情報_入力画面
 - 1) 「建築主等と申請物件の利用関係」及び「国庫補助事業への評価書等活用」欄の追加

| 申請者の住所4 | | | | |
|-------------------------|---------------------------------|---|--|--|
| 建築主等と申請物件の利用関係 * | 選択してください | 申請対象範囲の過半以上のものを選択 | | |
| 設計者等 * | 自己//有初日 賃貸物件 給与住宅 分譲物件 | 建築士事務所 くは名称の公開名称(承諾書のチェック内容に基づく情報)を記載(非公開の場合も入力) | | |
| 工事施工者等 | その他 | 務店 氏名又は名称の公開名称(承諾書のチェック内容に基づく情報)を記載 | | |
| 国庫補助事業への評価書等活用の 有無 * | ○有り(予定) ○無し | | | |
| 建物所在地(都道府県) * | 東京都 | | | |

上記項目は入力必須となり、申請の対象とする範囲の過半以上のもの1つを選択。

2)「申請の対象とする範囲」の変更、追加

| 新築の竣工時期(計画中の場合は予 定時期) * | 2017 年 03 月 27 日 又は 選択してください V 西歴年月日又は西歴年月上旬、中旬、下旬 | |
|---------------------------------------|---|---|
| 申請の対象とする範囲 * | <u>選択してください</u> 建物(非た実現 統物 全体) |] |
| 改修の竣工時期 | 建物(複合建築物全体) フロア | |
| 申請対象部分の用途 * | | |
| | 複合建築物の部分(非住宅部分全体) | |
| | 住宅 住康 住戸(共同住宅等・復合建築物の住戸部分) 住戸(店舗等併用住宅における住戸部分) 部分(住宅) 複合建築物の部分(住宅部分全体) | |

① 変更箇所

a.改修前:「建物」

改修後:「建物(非住宅建築物全体)」又は「建物(複合建築物全体)」 ※「建物」は申請書において、「建築物全体」と表記

b.改修前:「住戸」

- 改修後:「住戸(共同住宅等・複合建築物の住戸部分)」又は「住戸(店舗等併用住 宅における住戸部分)」
- ② 追加箇所
 - ・ 複合建築物の部分(非住宅部分全体)
 - ・ 複合建築物の部分(住宅部分全体)

(2) ファイルアップロード画面

・共同住宅等(共用部分)(以下「共用部分」)専用アップローダーを新設

| | 機関名 | 評価協会テスト 評価員氏名 | | 評価 評太郎 | | | |
|---|---------------------------|---|-------|-------------|--|--|--|
| | 評価書番号 | 000-00-0000-00000 | 評価年月日 | 2018/07/09 | | | |
| | 申請者の氏名又は名称 | 申請 申太郎 | 物件名 | 評価 評太郎 新築工事 | | | |
| 1 | PDFファイル | 計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。 参照 アップロード | | | | | |
| 2 | 共同住宅等 (共用部分) 用 PDFファイル | 計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。 参照 アップロード 共同住宅等(共用部分)以外はアップロードしないで下さい。 | | | | | |

共用部分専用の PDF アップローダー(②)を追加しました。

この改修により、標準入力法において、<u>建物用途に「共同住宅共用部」が含まれる場合は、</u> ①においてアップロードを行なうことができなくなります。複合建築物においては、非住宅 部分と共用部分の計算書を分けてアップロードを行なう必要があります。

a.改修前:①でアップロードされた場合は、建物用途が「共同住宅共用部」の場合は、非住 宅・入力画面の共同住宅欄に反映され、評価書第2面の非住宅部分に表示。

b.改修後:②を用いてアップロードされた計算結果については、建物用途に関わらず共同住 宅等(共用部)・入力画面に反映され、評価書第2面の共同住宅等の共用部分へ表示。

【注意事項】

a.アップローダー①について

非住宅部分専用のアップローダーとなり、読み込まれた数値は、非住宅・入力画面に反映 されます。このため、標準入力法の建物用途に「<u>共同住宅共用部」を含む PDF ファイルの読</u> 込みは出来ません。

※エラーメッセージ標準入力法の建物用途に「共同住宅共用部分」を含むファイルをアップロードした場合

| アップロードされたPDFファイルは有効な計算結果等PDFファイルではありません。(非住宅に共同住宅項目のデータがあります。)(太陽 光無し共用部energyconservation_20180614112524.pdf) | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|
| PDFファイル | 計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。 参照 アップロード | | | | | | |
| | 計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。 | | | | | | |

b.アップローダー②について

標準入力法による共用部分専用のアップローダーとなり、読み込まれた数値は、共同住宅 等(共用部)・入力画面に反映されます。

標準入力法の建物用途において「<u>共同住宅共用部」以外の建物用途が含まれる場合でも、共</u> <u>用部分として評価されます</u>。

※エラーメッセージ住宅、モデル建物法のPDFファイルをアップした場合

| アップロードされたPDFファイルは共同住宅等(共用部分)PDFファイルではありません。 | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|
| PDFファイル | 計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。 参照 アップロード | | | | | |

計算結果等PDFファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックしてください。

(3) 住宅・入力画面

・非住宅部分の計算対象床面積の入力欄の新設

| 参考値(一次エネルギー換算の値) ※住宅の「ZEH マーク」「ゼロエネ相当」に 関する表示を行う場合には入力してくださ い。 | 発電量(コージェネレーショ ン) | 設計一次エネルギー消費量 | |
|---|--|--------------|--|
| | 発電量(太陽光発電) | 設計一次エネルギー消費量 | |
| | 売電量(太陽光発電) | | |
| | 非住宅と太陽光発電設備を共有している場合入力 ※共用部分も共有している場合は共用部分の入力画面で入力 非住宅の評価対象床面積(㎡) (小数第2位まで) | | |

ZEH-Mマーク等表示を希望し、非住宅と太陽光発電設備を共有している場合のみ入力。

(4) 非住宅・入力画面

1) 共同住宅の入力欄及び表示の削除

| 評価対象の床面積 | 評価対象の床面積を入力してください。(小数点第2位まで) | | | | | | |
|-------------------|------------------------------|----------------|---------------------|--|--|--|--|
| | | 1 | 事務所等 | | | | |
| | | 2 | ホテル等 | | | | |
| | | 3 | 病院等 | | | | |
| 広天 (ま (…の) | | 4 | 百貨店等 | | | | |
| が正した軍(m2) | | 5 | 学校等 | | | | |
| | | 6 | 飲食店等 | | | | |
| | | 7 | 集会所等 | | | | |
| | | 8 | 工場等 | | | | |
| | | | | | | | |
| 基準一次エネルギ | ー消費量について、該当箇所を入力してく | ださい。(小数点第2位まで) | | | | | |
| 1 | 事務所等 | 「その他」除き | | | | | |
| 2 | ホテル等 | 「その他」除き | 上段にあった、共同住宅の人力欄 | | | | |
| 3 | 病院等 | 「その他」除き | E削除し、共同住宅等(共用部)・入 📃 | | | | |
| 4 | 百貨店等 | 「その他」除きした |)画面に統一。 | | | | |
| 5 | 学校等 | 「その他」除き | | | | | |
| 6 | 飲食店等 | 「その他」除き | 基準一次エネルギー消費量(GJ/年) | | | | |
| 7 | 集会所等 | 「その他」除き | 基準一次エネルギー消費量(GJ/年) | | | | |
| 8 | 工場等 | 「その他」除き | 基準一次エネルギー消費量(GJ/年) | | | | |

| 効率化設備 ※太陽光発電を住戸部分、共 用部分と共有する場合は、各部 分の自己消費量を発電量から 差し引いた値を入力してくださ い。 | 設計一次エネルギー消費量 | |
|---|--------------|--|
|---|--------------|--|

非住宅部分の評価において、太陽光発電設備を住戸部分、共用部分と共有する場合は、各 部分の自家消費量及び自己消費量を発電量から差し引いた値を入力。

(5) 共同住宅等(共用部)·入力画面

効率化設備入力欄の変更

- ① 入力欄を、コージェネレーション設備と太陽光発電設備それぞれに分別
- ② 効率化設備の設計一次エネルギー消費量を QR コードからの読込みから手入力に変更

| | | | 日政機 | 設計一次エネルギー消費量 | |
|--------------|--|------------------|---|--|------------|
| | 共同住宅等((MJ/m2・年) | (共用部分) | <i>5</i> 十 P苹 10호 | 基準一次エネルギー消費量 | |
| | | | その他 | 基準・設計一次エネルギー消費量 | |
| | | | 効率化設備 (コジェネ) | 発電量(コージェネレーション)(GJ/年) 算定結果第2面の値を手入力 | |
| | | | | 太陽光発電設備の共有に関して | 選択してください 🗸 |
| | | - 1 | | 主たる廊下の形状 * | 選択してください ✔ |
| | 1) | 効率化設備 (太陽光発電) | 設計-次エネルギー消費量の合計 (GJ/年) (太陽光発電設備を除き建築研究所WEBプログ ラムで算定したもの) | | |
| | | | | 太陽光発電による削減量(自己消費量) (MJ/年)(整数) 廊下の形状が「一」の場合のみ入力する | |
| \mathbf{O} | 2) 参考値 「ZEH-Mマーク」等を表示させる場合に入力して 下さい。 | | 総発電量(太陽光発電)(GJ/年) 共用部分単独又は共用部分と非住宅で共有している場合入力 | | |
| | | | 非住宅の評価対象床面積(m) 非住宅と太陽光発電設備を共有している場合入力(小数第2位まで) | | |
| | 基準一次エネ | ルギー消費量を入力してくださ | きい。(小数点第2位まで) | | |
| | 0 | 共同住宅 | 「その他」除き | 基準一次エネルギー消費量(GJ/年)* | |
| | | | | | |

| エネノ | レギー消 | i費性能計算 | 「プログラ | ラム(非住宅) | 版) 算定約 | 吉果 | | | | | |
|---|--------|------------------|---------|----------------|-------------|--------|------|------|------|------|---------|
| | | (Percent) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | 0.00 | |
| | | 冷却塔ポンプ | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 換気 | 設備 | 127.68 | | | | | | | | 127.68 |
| | 照明 | 設備 | 394.28 | | | | | | | | 394.28 |
| | 給湯 | 設備 | 23.66 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 23.66 |
| | 昇降 | 锋機 | 104.48 | | | | | | | | 104.48 |
| 하 5月 | 家化設備 | 太陽光発電 | -121.56 | | | | | | | | -121.56 |
| ~~~~ | | CGS | 0.00 | | | | | | | | 0.00 |
| | その |) <mark>他</mark> | 0.00 | | | | | | | | 0.00 |
| | 建物 | 全体 | 802.10 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 802.1 |
| 建物 | 物全体(延足 | 末面積あたり) | 0.11 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.11 |
| | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | 1.00 | 基準·設計 | ー次エネ | ルギー消 | 資量 | | | | |
| 効率化設備 (コジェネ) 発電量(コー 算定結果第2回 算定結果第2回 | | | | ージェネし 面の値を手 | /一ション 入力 |)(GJ/年 |) | | | | |

③ コージェネレーション設備は、WEB-PG 算定結果第2面の当該項目の数値を入力

④ 共用部分に太陽光発電設備を有する場合は以下の手順で入力

- a. 太陽光発電設備の共有に関して、以下より選択。
 - ・「共有無し」:各用途(住戸部分、共用部分、非住宅部分)で太陽光発電設備を有 し、当該設備の共有が無い

選択してください

・「住戸、共用部分で共有」:住戸部分と共用部分で太陽光発電設備を共有

太陽光発電設備の共有に関して

- ・「住戸、共用部分、非住宅で共有」: 各用途全てで太陽光発電設備を共有
- ・「共用部分、非住宅で共有」:共用部分と非住宅部分で太陽光発電設備を共有

| | 太陽光発電設備の共有に関して | 選択してください 共有無い |
|------------------|---|-------------------------------|
| 効率化設備 (太陽光発電) | 主たる廊下の形状* | 住戸、共用部分で共有 |
| | 設計一次エネルギー消費量の合計 (GJ/年) (太陽光発電設備を除き建築研究所WEBプログラムで算定したもの) | 住戸、共用部分、非住宅で共有 共用部分、非住宅で共有 |
| | 太陽光発電による削減量(自己消費量) | |

- b. 主たる廊下の形状を、以下より選択
 - ・「大半が屋内」: 共用部分の、主たる廊下の形状の大半が屋内
 - ・「大半が屋外」: 共用部分の、主たる廊下の形状の大半が屋外

・「-」 :上記方法によらない場合

※太陽光発電による削減量(自己消費量)の手入力が必要

| | 太陽光発電設備の共有に関して | 選択してください 🗸 |
|------------------|---|------------|
| | 主たる廊下の形状 * | 選択してください |
| 効率化設備 (太陽光発電) | 設計一次エネルギー消費量の合計 (GJ/年) (太陽光発電設備を除き建築研究所WEBプログ ラムで算定したもの) | 大半が屋外 |
| | 太陽光発電による削減量(自己消費量) (MJ/年)(整数) <u>廊下の形状が「一」の場合のみ入力する</u> | |

c. 設計一次エネルギー消費量の合計(GJ/年)は、WEB-PG 算定結果より手入力 当該数値は、WEB-PG において太陽光発電設備を考慮(入力)せずに算定した設 計一次エネルギー消費量(その他含み)。

| | | 設計値 | | | 基準値 |
|-----------|-------|--------------|-----------------|--------------|------------------|
| PAL * | | | - | - | |
| | | 設計一次エネルギー消費量 | | 基準一次エネルギー消費量 | |
| 内訳 | 空調設備 | 273.56 GJ/年(| 38.97 MJ/延床m2年) | 305.00 GJ/年(| 43.45 MJ/延床m2年) |
| | 換気設備 | 127.68 GJ/年(| 18.19 MJ/延床m2年) | 123.94 GJ/年(| 17.65 MJ/延床m2年) |
| | 照明設備 | 394.28 GJ/年(| 56.17 MJ/延床m2年) | 435.59 GJ/年(| 62.05 MJ/延床m2年) |
| | 給湯設備 | 23.66 GJ/年(| 3.37 MJ/延床m2年) | 13.52 GJ/年(| 1.93 MJ/延床m2年) |
| | 昇降機 | 104.48 GJ/年(| 14.88 MJ/延床m2年) | 208.96 GJ/年(| 29.77 MJ/延床m2年) |
| | 効率化設備 | 0.00 GJ/年(| | | |
| | その他 | 0.00 GJ/年(| 太陽光発 | | 0.00 MJ/延床m2年) |
| 合計 | | 923.7 GJ/年(| 13 (入力) t | さず、その他を | 154.86 MJ/延床m2年) |
| 合計(その他抜き) | | 923.7 GJ/狆(| 13 含んだ値 | | 154.86 MJ/延床m2年) |

| - | - | ·/ | د حد | 业中日日 | |
|----|-------|--------|------|------|-----|
| 3. | PAL * | ・ー次エイル | レモーン | 月貨重日 | 昇結果 |

| | 太陽光発電設備の共有に関して | 選択してください 🗸 |
|------------------|---|------------|
| | 主たる廊下の形状 * | 選択してください 🗸 |
| 効率化設備 (太陽光発電) | 設計一次エネルギー消費量の合計 (GJ/年) (太陽光発電設備を除き建築研究所WEBプログ ラムで算定したもの) | |
| | 太陽光発電による削減量(自己消費量) (MJ/年)(整数) <u>廊下の形状が「一」の場合のみ入力する</u> | |

d. 太陽光発電による削減量(自己消費量)

主たる廊下の形状において「-」を選択した場合のみ、手入力。それ以外は自動 算定されるので入力は不要。

| | 太陽光発電設備の共有に関して | 廊下の形状「一」 以外は 自動算定のため、 入力不要 | |
|------------------|---|----------------------------------|--|
| | 主たる廊下の形状 * | | |
| | 設計一次エネルギー消費量の合計 (GJ/年) (太陽光発電設備を除き建築研究所WEBプログ ラムで算定したもの) | | |
| 効率化設備 (太陽光発電) | | | |
| | 太陽光発電による削減量(自己消費量) (MJ/年)(整数) <u>廊下の形状が「一」の場合のみ入力する</u> | | |

3) ZEH-Mマーク等の表示を行うための入力欄の追加

この欄は、ZEH-Mマーク等表示を行う際で以下に該当する場合に入力。

| | 総発電量(太陽光発電)(GJ/年) 共用部分単独又は共用部分と非住宅で共有している場合入力 | |
|-------|---|--|
| Tell. | 非住宅の評価対象床面積(m) 非住宅と太陽光発電設備を共有している場合入力(小数第2位まで) | |

- ① 総発電量(太陽光発電)は以下のいずれかに該当する場合
 - ・ 共用部分単独の太陽光発電設備がある
 - ・ 共用部分と非住宅部分で太陽光発電設備を共有している
- ② 非住宅部分の計算対象床面積は、以下に該当する場合 共用部分と非住宅部分で太陽光発電設備を共有している
- (6) その他情報・入力画面

| 特記事項について | | | |
|---|--|--|--|
| ZEB又は「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」、 「ZEH-Mマーク」に関する事項 | 『ZEH』 ✓ ※左記の表示は、要件を確認の上行ってください。システム上表示可能であっても表示要件を満たさない場合がございます。 | | |
| 再生可能エネルギーを除いた設計一次エネル ギー消費量の基準一次エネルギー消費量から の削減率(%) | | | |
| 再生可能エネルギーを加えた設計一次エネル ギー消費量の基準一次エネルギー消費量から の削減率(%) | | | |
| 参考情報 | | | |
| ZEH Oriented要件 | ③ 深沢してください ▼ ※申請対象範囲が住宅でZEH Orientedを表示させる場合のみ入力。 | | |

1) 「ZEBマーク」又は「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」、「ZEH-Mマーク」に関する事 項の下記マークを追加

| 特記事項について | | | |
|---|---|--|--|
| ZEB又は「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」、 「ZEH-Mマーク」に関する事項 | 選択してください 『ZEB』 Neady ZEB | ※左記の表示は、要件を確認の上行ってください。システム上表示可能で たさない場合がございます。 | |
| 再生可能エネルギーを除いた設計一次エネル ギー消費量の基準一次エネルギー消費量から の削減率(%) | ZEB Ready ZEB Ready ZEHJ Neady ZEH | | |
| 再生可能エネルギーを加えた設計一次エネル ギー消費量の基準一次エネルギー消費量から の削減率(%) | ZEH Ready ZEH Oriented ゼロエネ相当 | | |
| 参考情報 | 『ZEH-M』 Nearly ZEH-M | | |
| ZEH Oriented要件 | ZEH-M Ready ZEH-M Oriented | 申請対象範囲が住宅でZEH Orientedを表示させる場合のみ入力。 | |

2) ZEH Oriented 要件欄の追加

申請の対象とする範囲が、住宅又は住戸(店舗等併用住宅における単位住戸)の場合 に、申請者からの申告による ZEH Oriented の要件である「都市部狭小地」に関する事 項に適合の有無を入力。

| の削減率(%) | | | |
|----------------|----------------|--------------------------------------|--|
| 参考情報 | | | |
| ZEH Oriented要件 | 選択してください 適合 | ※申請対象範囲が住宅でZEH Orientedを表示させる場合のみ入力。 | |
| | _ _ | | |

「適合」を選択した場合、評価書第2面の参考情報のその他情報に定型文が以下のように表記される。申請者からの参考情報は、この定型文の下段より表記がなされる。



2. BELS 評価書作成プログラムにおける注意事項

作成 PG において、「ZEB マーク」及び「ZEH マーク」、「ZEH-M マーク」等の表示を行う場合に、補助機能として要件を満たさない場合のアラート(エラーメッセージ等)を出していますが、全ての内容を網羅しておりません。そのため、作成 PG で評価書が交付可能で

あっても各機関様において要件への適合及び内容の確認をしていただくようお願い致しま す。

 ZEH-M、Nearly ZEH-M、ZEH-M Readyの表示を行う場合、すべての住戸が強化外皮基 準及び省エネ基準を満たす必要がありますが、作成 PG では各住戸の当該要件の適合は判断 しません。評価機関において事前に当該要件を満たしていることを確認していただく必要が あります。作成-PG では各住戸の UA 値の平均で表示要件の適否を判断しています。